

信州大学医学部附属病院 特殊歯科・口腔外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

平成 28 年 1 月 1 日

「放射線性顎骨壊死の発症リスク因子の解明に関する多施設共同後ろ向き観察研究」
に関する臨床研究(後ろ向き観察研究)を実施しております。

信州大学医学部医の倫理審査委員会の審査による医学部長の承認を得て、研究用に
保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関す
る倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	3367
課題名	放射線性顎骨壊死の発症リスク因子の解明に関する多施設共同 後ろ向き観察研究
研究機関	信州大学医学部附属病院(関西医科大学、長崎大学など) (研究施設: 関西医科大学枚方病院)
研究責任者	信州大学医学部附属病院 (特殊歯科・口腔外科、山田慎一)
研究実施期間	倫理審査委員会承認日～2016年12月31日
研究の意義、目的	この研究は放射線性顎骨壊死に対して放射線照射前の抜歯の 有効性、抜歯の基準、照射後の抜歯症例における発症率や適切 な抜歯時期について調査し、どのような臨床的因子が本症の発症 リスクになるかについて明らかにすることにより放射線治療を受け る患者さんの放射線性顎骨壊死の発症の減少につながり、患者 さんの術後の経過の向上に繋がるのが可能になります。
対象患者様	2008年1月1日より2013年12月31日の期間に当院で顎骨 が照射野に含まれる放射線治療を受けた悪性腫瘍の患者さま。
利用検体	ありません。
利用カルテ情報	年齢、性別、放射線治療の内容、顎骨壊死発症の有無、など
その他	特にありません。

既存の検体と診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や
検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へお名前や個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術
雑誌で発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、また
ご不明な点については、下記のお問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い
いたします。

ご自分の診療記録等の利用をお断りになっても、通常の診療などで不利益を受けることは
ありません。上記の研究期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問い合わせ先: 信州大学医学部附属病院

担当者 特殊歯科・口腔外科 山田慎一 (電話: (0263)37-2677)